

(株) マッキャンヘルスケアワールドワイドジャパンの取組について

健康行動ナッジ手法を応用した低炭素型の
行動誘発システムの開発と社会実装
(平成29年度～33年度)

株式会社マッキャンヘルスケアワールドワイドジャパン

事業実施体制

実施主体	分担業務	メンバー
株式会社マッキャンヘルスケアワールドワイドジャパン	事業全体統括・コミュニケーション戦略の設計・実行・効果検証	林 英恵(アソシエイトディレクター) 奥 慎一郎(アカウントディレクター) 下田 哲広(アソシエイトプランナー) 他
東京大学	ナッジ手法開発と効果評価および行動科学・公衆衛生学分野の情報レビュー	近藤 尚己(医学系研究科 准教授)
国立環境研究所	健康行動の低炭素性評価手法の開発と実証	南齋規介(資源循環・廃棄物研究センター 国際資源循環研究室長) 横尾英史(資源循環・廃棄物研究センター 研究員)

事業概要

- 低炭素型の行動と健康行動の類似性を活用し、行動変容による相乗効果を狙う

低炭素型の行動

健康行動

行動経済学的見地から見た低炭素型の行動と健康行動の類似性(例)

- 時間選好(遠くの未来よりも今の快樂が大切)
- 双極割引(せっかちな度合いと認知行動に関する理論)
- プロスペクト理論(認知行動のゆがみに関する理論)

行動経済学的見地から見た低炭素型の行動と健康行動の親和性(例)

ハイブリッドな行動目標設定が可能

健康と環境の両分野で親和性が見込めるテーマ

- 運動
- 食
- 働き方
- たばこ
- ...

電力

- ✓ 人と集うことで、認知症の予防や高血圧の低下につながり健康に良い
- ✓ 人と集うことで、クールシェア・ウォームシェアにつながりCO₂排出量が減る

医療

- ✓ 医療機関での規範意識・ピア効果により医療従事者の健康的な行動が促進される
- ✓ 医療機関での規範意識・ピア効果により使われるCO₂排出量が減る

交通

- ✓ 車よりも公共交通機関や徒歩での移動の方が身体活動を促進し健康に良い
- ✓ 車よりも公共交通機関や徒歩での移動の方がCO₂排出量が少ない

“ナッジ”の活用

- 健康行動分野で蓄積されたナッジのエビデンスからの知見に基づき、環境・健康の両面に良い行動を引き出す“場”を意図的に作り出す

	作り出す”場”	ナッジで促される行動	用いるナッジ手法
電力	「集いのサロン」 (自治体や地域コミュニティを主体とした、高齢者が集まり、運動等の参加型の活動を行う場)	サロン参加者のクールシェア・ウォームシェアを促すことでCO2排出量削減	サロン参加という楽しい行動により、無意識に低炭素型の行動を誘発
医療	「医療機関における低炭素型行動のナッジモデル開発」	医療従事者の行動をナッジする仕組みの開発によりCO2排出量削減	規範意識の醸成、ピア効果、競争といった要素による行動の促進
交通	「ゲーム型アプリ」(パ・リーグウォーク)による歩数対戦	アプリをダウンロードした者の徒歩での移動を促し、CO2排出量削減	ゲーミフィケーションに基づくオンラインコミュニティにより人々の健康的な行動を誘発

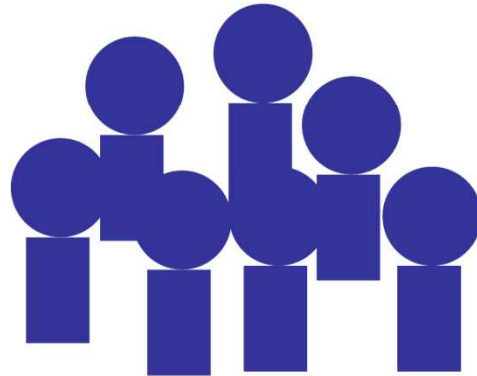
想定するフィールド

事業年度	電力	医療	交通
H29	松戸市(千葉県)	川口市(埼玉県)	オンライン
H30	松戸市(千葉県)	川口市(埼玉県)	オンライン
H31	松戸市(千葉県)	川口市(埼玉県)	オンライン
H32	40自治体	川口市(埼玉県)	オンライン
H33	全国自治体	川口市(埼玉県)	オンライン

協業者	松戸市 日本老年学的評価研究 JAGES	埼玉協同病院 日本Health Promoting Hospitals Network	パシフィックリーグマーケ ティング株式会社 株式会社スノウビン
-----	----------------------------	---	---------------------------------------

事業目標

エビデンスに基づいたナッジに基づく
電力・医療・交通分野の行動変容によるCO₂排出量削減
(直接効果のみ)



電力

✓ 集うことでの電力シェアへ(例)

医療

✓ 病院でのCO₂削減へ(例)

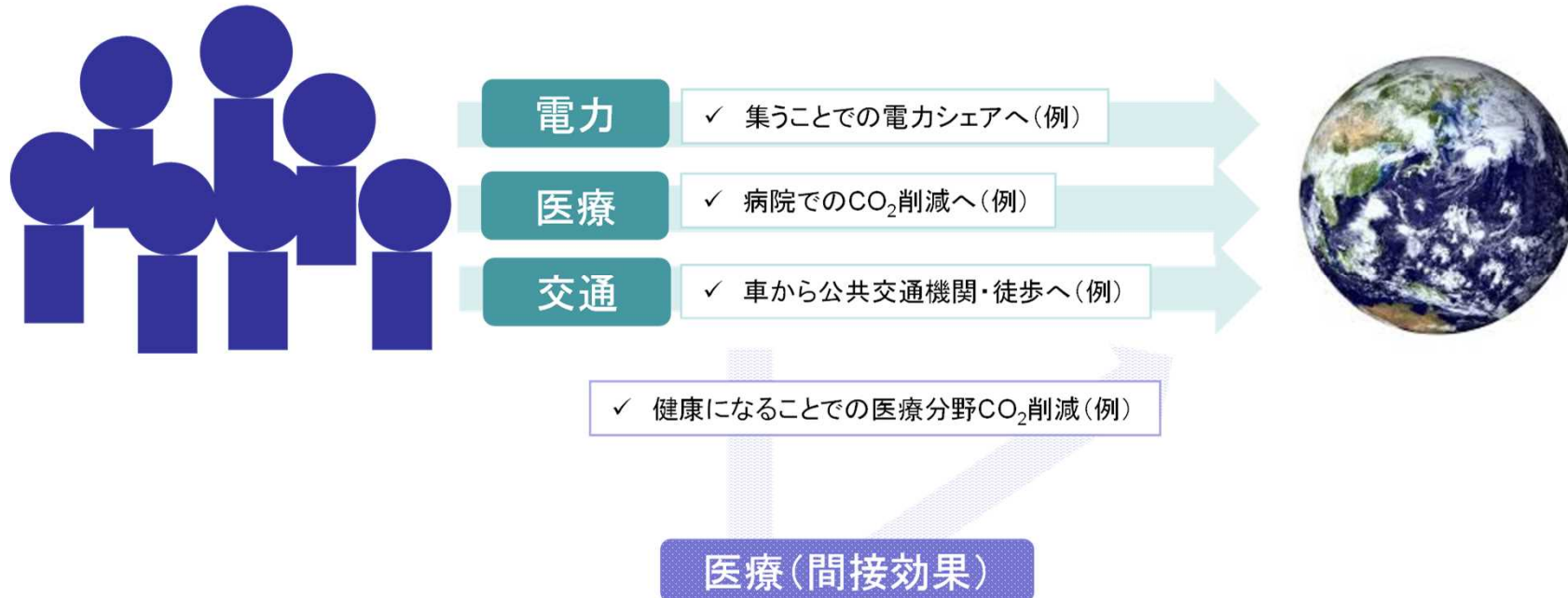
交通

✓ 車から公共交通機関・徒歩へ(例)



事業目標

エビデンスに基づいたナッジに基づく
電力・医療・交通分野の行動変容によるCO₂排出量削減
(直接効果のみ)



健康になることで削減される医療分野のCO₂排出量の間接効果

各年度の実施項目

年度	実施項目	実施概要
H29	小規模パイロットテスト、インサイト調査、次年度以降の計画策定	<ul style="list-style-type: none"> 小規模パイロットテスト(松戸市) 医療機関でのインサイト調査(川口市) 交通分野に関する計画策定
H30	各「場」における介入モデル開発とエリア限定実装(前半)	<ul style="list-style-type: none"> 質的・量的調査で各「場」での介入プログラムにおけるナッジモデルを開発、限定的な対象者に実装
H31	エリア限定実装(後半)、および効果検証	<ul style="list-style-type: none"> 効果検証により各プログラムにおけるナッジモデルを精緻化
H32	全国・広範囲での実装展開(前半)	<ul style="list-style-type: none"> 全国への普及モデル(企業向け・自治体向け)を開発 ナッジモデルをさらに精緻化 広い地域・対象で社会実装
H33	全国・広範囲での実装展開(後半)	<ul style="list-style-type: none"> 行動誘発システムをマニュアル化し、企業のビジネスモデルや自治体の普及モデルとして波及

各年度の実施項目

年度	実施項目	実施概要
H29	小規模パイロットテスト、インサイト調査、次年度以降の計画策定	<ul style="list-style-type: none"> 小規模パイロットテスト(松戸市) 医療機関でのインサイト調査(川口市) 交通分野に関する計画策定
H30	各「場」における介入モデル開発とエリア限定実装(前半)	<ul style="list-style-type: none"> 質的・量的調査で各「場」での介入プログラムにおけるナッジモデルを開発、限定的な対象者に実装
H31	エリア限定実装(後半)、および効果検証	<ul style="list-style-type: none"> 効果検証により各プログラムにおけるナッジモデルを精緻化
H32	全国・広範囲での実装展開(前半)	<ul style="list-style-type: none"> 全国への普及モデル(企業向け・自治体向け)を開発 ナッジモデルをさらに精緻化 広い地域・対象で社会実装
H33	全国・広範囲での実装展開(後半)	<ul style="list-style-type: none"> 行動誘発システムをマニュアル化し、企業のビジネスモデルや自治体の普及モデルとして波及

H29 電力：小規模パイロットテスト(松戸市)

65歳以上の松戸市在住の高齢者に対し、サロン参加によるクールシェア・ウォームシェアのCO2削減効果を把握するための以下調査を実施する。

高齢者の
現在の環境行動の
実態把握

松戸市高齢者
6,400名に対し、
「現在の環境行動
の実施有無」を問う
定量調査を実施
(11月)

サロン参加者の
現在の環境行動の
実態把握

サロン参加者に対し、
「現在の環境行動
の実施有無」を問う
定量調査を実施
(12月)

サロン参加者の
ウォームシェアによる
CO2削減効果実測

サロン参加者の
ウォームシェアによ
り、家庭の電力使
用量削減、ひいて
はCO2削減につな
がっているかを実測
(12月～1月)



サロン実施時の施設の電力使用量と、サロン未実施時の家庭における電力使用量の差分により効果を把握(スマートメーター+上記調査により把握)

H29 医療：病院でのインサイト調査(川口市)

医療生協さいたまの医療従事者に対して、低炭素型の行動に関するインサイトを把握するための以下調査を実施する。

インサイト発掘に向けた
質的調査

医療従事者に対し、病院での環境行動の実態や環境行動への意識、実際の行動に関する質的調査を実施
(12月)

インサイト確認のための
量的調査

医療従事者300-500名程度に対し、質的調査で得られた仮説を検証するための量的調査を実施
(12~1月)

病院における
効果的な介入策の検討

量的調査結果に基づき、クラスター分析や因子分析による医療従事者のグループ分け、および効果的なナッジを用いた介入策の検討

H29 交通：実施計画策定

H30以降に実施する事業の滞りない進行のため、以下の通り計画策定および協業者との調整を実施する。

H30年度以降に実施する
事業計画の精緻化

社会実装・普及のための
協業者との調整

ゲーム型アプリ(パ・リー
グウォーク)を用いた
ナッジによる介入につい
て、定量的評価のため
の具体的な実施方法や
計画を外部有識者を含
め明確にする

対面による会議や電話
等の連絡、研究者コン
ソーシアムを通じて協業
者との合意形成を行う

まとめ

- 本事業では、健康分野でエビデンスが蓄積されているナッジの活用により、健康と環境両面に良い行動を促す仕組みづくりを行う
- 特に、「電力」「医療」「交通」の3分野に絞った取り組みを実施し、効果の検証および取り組みの拡大を目指す
- 29年度は小規模パイロットテスト・インサイト調査を行うとともに、次年度以降の取り組みに向けた関係各所との調整を実施する